

H30

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	52 業務のシステム化推進					重要度	B			
番号・取組事業名	52001	バッチ処理コストの適正化		作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31			
担当部署	020800	企画部 情報政策課		責任者	長妻 敏浩	担当者	情報政策・セキュリティ担当			
取組年度	H28	～	H32							
効果	歳出削減									
最終目標	市全体の情報化に係る予算規模の適正化を図ることを目的に、年々増加するバッチ処理に係る経費について見直しを行う。									
年度	区分	取組内容・目標								
平成28年度	計画どおり	現行システムの処理方法から、汎用的かつ効率的な処理を行えるようシステムの見直しを行い、電算予算にかかる経費の削減を図った。								
平成29年度	計画どおり	処理方法の見直し、担当者の査定等によりサービスの質を維持した上でのコスト削減を図った。								
平成30年度	計画どおり	処理方法の見直し、担当者の査定等によりサービスの質を維持した上でのコスト削減を図る。								
平成31年度	実施	処理方法の見直し、担当者の査定等によりサービスの質を維持した上でのコスト削減を図る。								
平成32年度	完了	処理方法の見直し、担当者の査定等によりサービスの質を維持した上でのコスト削減を図る。								
成果指標	指標名	バッチ処理に係る経費					単位	千円		
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値		
	当初計画値	270,781	248,799	261,238	274,299	288,014	302,415	302,415		
	変更計画値							0		
実績値	253,325		252,599	253,055			0			
効果額	歳入増加	当初計画額						0		
		変更計画額						0		
		実績額						0		
	歳出削減	当初計画額	270,781	21,982	9,543	△ 3,518	△ 17,233	△ 31,634	△ 20,860	
		変更計画額							0	
		実績額		17,456	18,182	17,726			53,364	
	計	当初計画額	270,781	21,982	9,543	△ 3,518	△ 17,233	△ 31,634	△ 20,860	
		変更計画額		0	0	0	0	0	0	
		実績額		17,456	18,182	17,726	0	0	53,364	
見込まれる その他効果 (金額以外)										

H30

## アクションプラン(平成30年度)

推進項目	52 業務のシステム化推進				重要度	B			
番号・取組事業名	52001	バッチ処理コストの適正化	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31			
担当部署	020800	企画部 情報政策課	責任者	長妻 敏浩	担当者	情報政策・セキュリティ担当			
	区分	取組内容・目標							
平成30年度	計画どおり	処理方法の見直し、担当者の査定等によりサービスの質を維持した上でのコスト削減を図る。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	処理方法の見直し、担当者の査定等					○			
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	その他	コメント	10月以降に実施予定。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	バッチ処理に係る経費		計画値	単位 274,299	千円	実績値	単位 253,055	千円
	達成状況【成果】	達成		コメント	現行システムの処理方法から、汎用的かつ効率的な処理を行えるようシステムの見直しを行い、電算予算にかかる経費の削減を図った。				
	進捗状況【活動】	計画どおり							
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無		コメント				
計画値		無							
評価	評価者	飯田 晃一		※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	A		コメント 指示事項	計画していた削減額より2千万円の削減が図られる結果となった。引続き業務の効率化の視点も考慮しながら事務フローの分解、分析をベースとしたコストの適正化に努めるものとする。				
	方向性	継続実施							

H30

## アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	52 業務のシステム化推進				重要度	B			
番号・取組事業名	52003	救急救命ネットワーク事業		作成日	H30.4.1		更新日	H31.3.31	
担当部署	400400	消防局 救急課		責任者	伊藤 政則		担当者	救急担当	
取組年度	H28	～	H32						
効果	歳出削減								
最終目標	・市内公共施設に設置されているAEDを、一括リースに変更することによる経費削減。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	リース契約している公共施設のAED117台継続して設置。							
平成29年度	計画どおり	リース契約している公共施設のAED117台継続して設置。							
平成30年度	計画どおり	リース契約している公共施設のAED117台継続して設置。							
平成31年度	実施	公共施設で更新予定のAED81台を、新たに一括リースで契約入札。合計198台の一括リース。							
平成32年度	完了	公共施設で更新予定のAED27台を、新たに一括リースで契約入札。合計225台の一括リース。							
成果指標	指標名	公共施設AEDのリース契約割合					単位	%	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値		52	52	52	88	100	100	
	変更計画値	52						0	
実績値			52	52	52			0	
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額		0	0	0	17,452	5,817	23,269
		変更計画額	2,540				18,670	4,176	22,846
		実績額		0					0
	計	当初計画額		0	0	0	17,452	5,817	23,269
		変更計画額	2,540	0	0	0	18,670	4,176	22,846
		実績額		0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)		リース契約は、 バッテリー、電 極パッド等の消 耗品費も含ま れる。	同左	同左	同左	同左	同左		

H30

## アクションプラン(平成30年度)

推進項目	52 業務のシステム化推進				重要度	B				
番号・取組事業名	52003	救急救命ネットワーク事業	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31				
担当部署	400400	消防局 救急課	責任者	伊藤 政則	担当者	救急担当				
	区分	取組内容・目標								
平成30年度	計画どおり	リース契約している公共施設のAED117台継続して設置。								
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
1	リース契約継続			○	○	○	○			
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
進捗										
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	今年度も、一括リースによるAED117台の契約継続をした。						
進捗・実績										
年度末	成果指標名	公共施設AEDのリース契約割合	計画値	単位	52	%	実績値	単位	52	%
	達成状況【成果】	達成	コメント	リース契約している公共施設のAED117台を継続して設置した(4年目)						
	進捗状況【活動】	計画どおり								
	計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	新たに4月1日から66台、11月1日から22台をリース契約をし、今年度からは公共施設のAEDは205台設置となる。					
計画値		有								
評価	評価者	村井 浩	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする							
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	AEDの一括リース化は、経費の削減と事務管理の一元化となるため、継続的に実施していくことが望ましい。 また、令和2年度も新たな台数増のリース契約が円滑に進められるよう、関係部署と調整しながら準備しておくこと。						
	方向性	継続実施								